

【ごみ処理施設編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	クリーンセンター（管理棟）			
-----	---------------	--	--	--

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	161
-----	--------	-----	--------	------	-----

所管部課	環境課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚723番地 (西部)	敷地面積	199,446 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和54年度
建物構造	RC	延床面積	289 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	104,040千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	1,771円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	管理委託			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳			
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	8
		道費	-		-		維持管理委託料	57
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	225,269		-		工事請負費	-
	合 計		225,269		-	その他維持費	-	
						小 計	65	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	19,788
				運営委託料	205,416			
				その他運営費	-			
				小 計	225,204			
				合 計(①+②)	225,269			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		3,835円/人		779,478円/m ²			



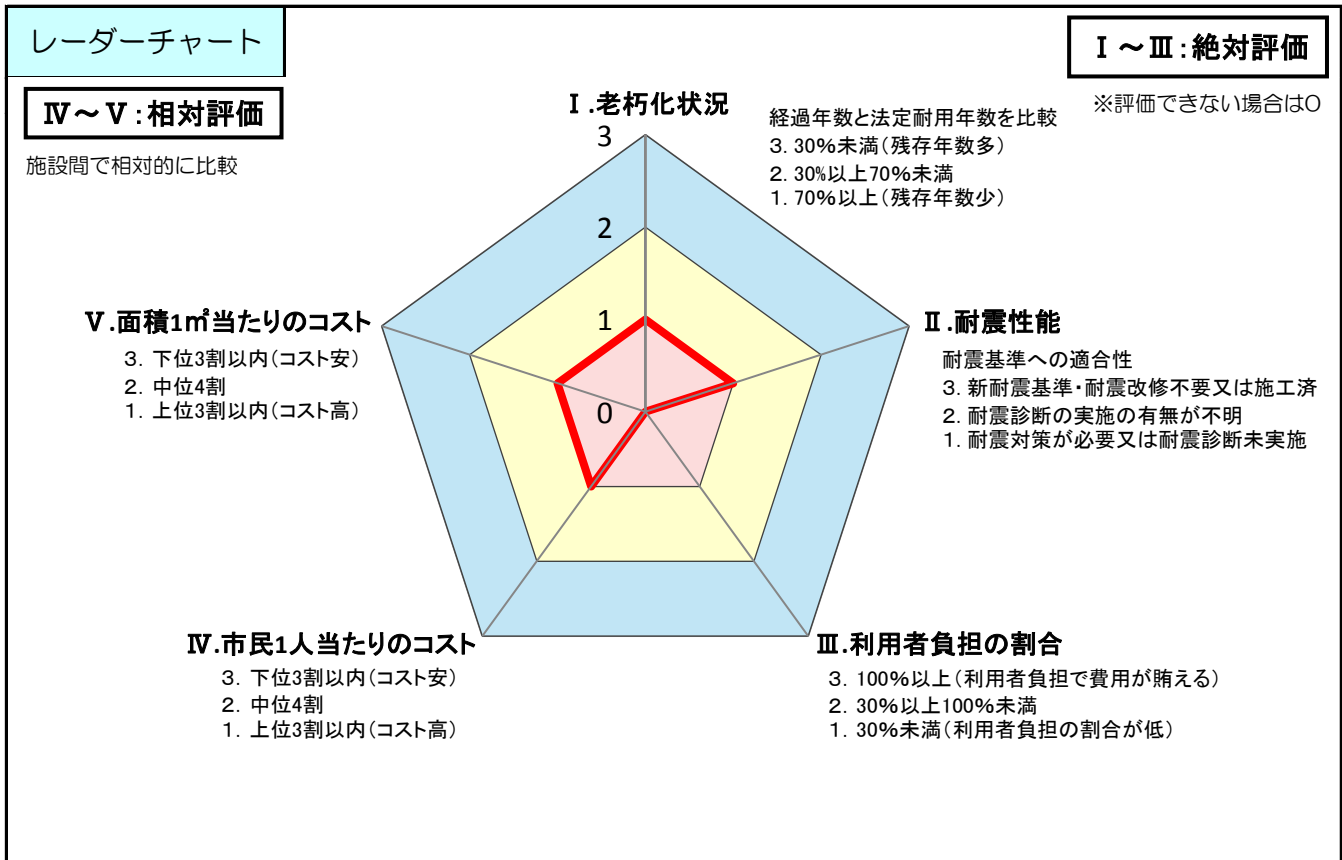
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

維持管理委託料、光熱水費は埋立地分を含む

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	78 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	対策が必要
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	3,835 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	779,478 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	クリーンセンター（汚水処理棟）				
-----	-----------------	--	--	--	--

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	162
-----	--------	-----	--------	------	-----

所管部課	環境課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚723番地 (西部)	敷地面積	199,446 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和54年度
建物構造	RC	延床面積	553 m ²	経過年数	39年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	199,080千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	3,389円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	管理委託			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	14
		道費	-		-		維持管理委託料	107
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	243		-		工事請負費	-
	合 計		243		-	その他維持費	-	
						小 計	121	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	122
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	122			
				合 計(①+②)	243			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	-円/人		4円/人		439円/m ²			



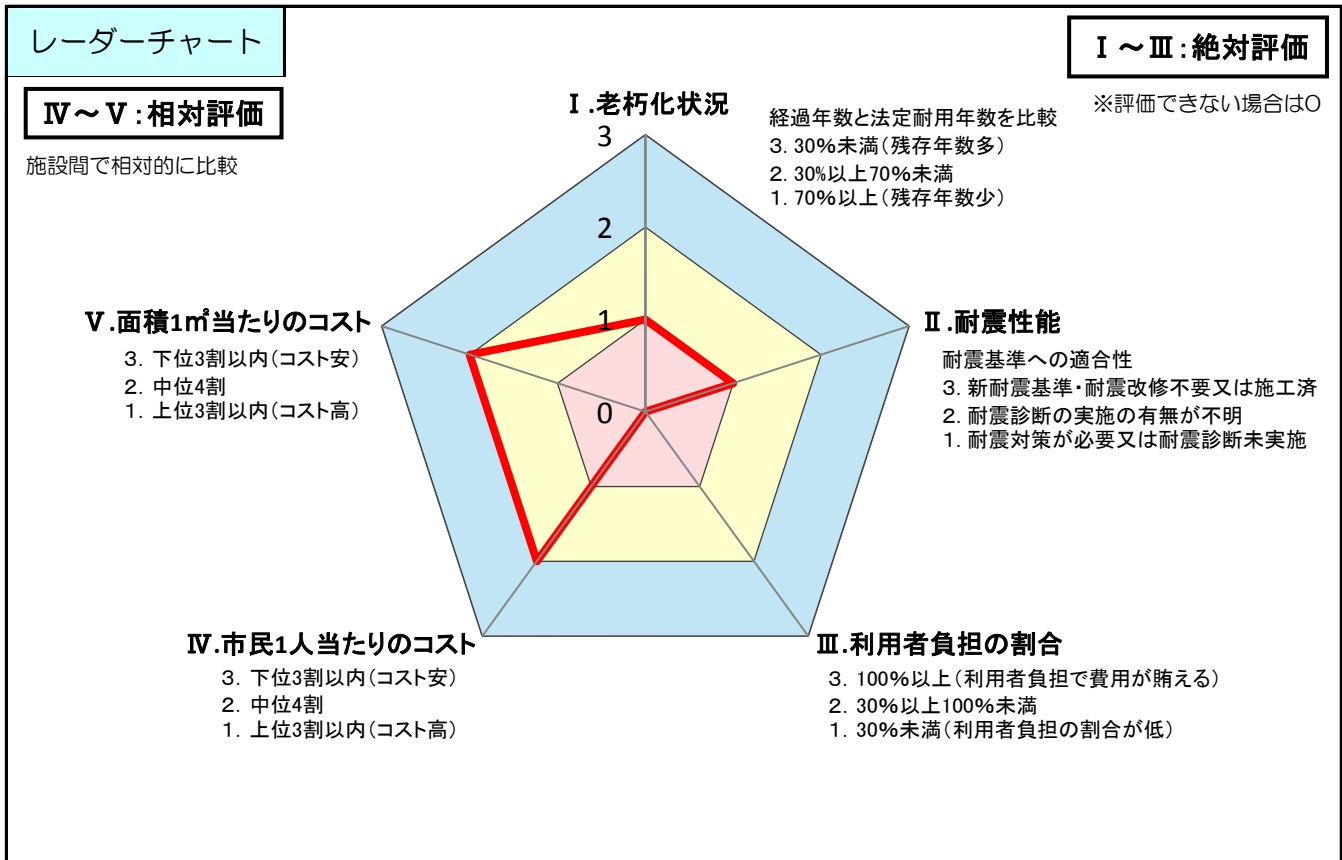
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

維持管理委託料、光熱水費は埋立地分を含む

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	78 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	対策が必要
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	4 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	439 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有していない恐れがある(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	資源ごみリサイクルセンター				
-----	---------------	--	--	--	--

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	163
-----	--------	-----	--------	------	-----

所管部課	環境課
------	-----

1 土地データ

所在地 (地区)	輪厚723番地 (西部)	敷地面積	199,446 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成22年度
建物構造	RC	延床面積	2,767 m ²	経過年数	8年
階数(地上)	3階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	996,120 千円	法定耐用年数	50年	市民1人当たり更新コスト	16,958 円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	管理委託			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費	-		-		火災保険料	1,046
		道費	-		-		維持管理委託料	1,033
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	2,710		-		工事請負費	-
	合 計		2,710		-	その他維持費	-	
						小 計	2,079	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	631
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	631			
				合 計(①+②)	2,710			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人		46 円/人		979 円/m ²			



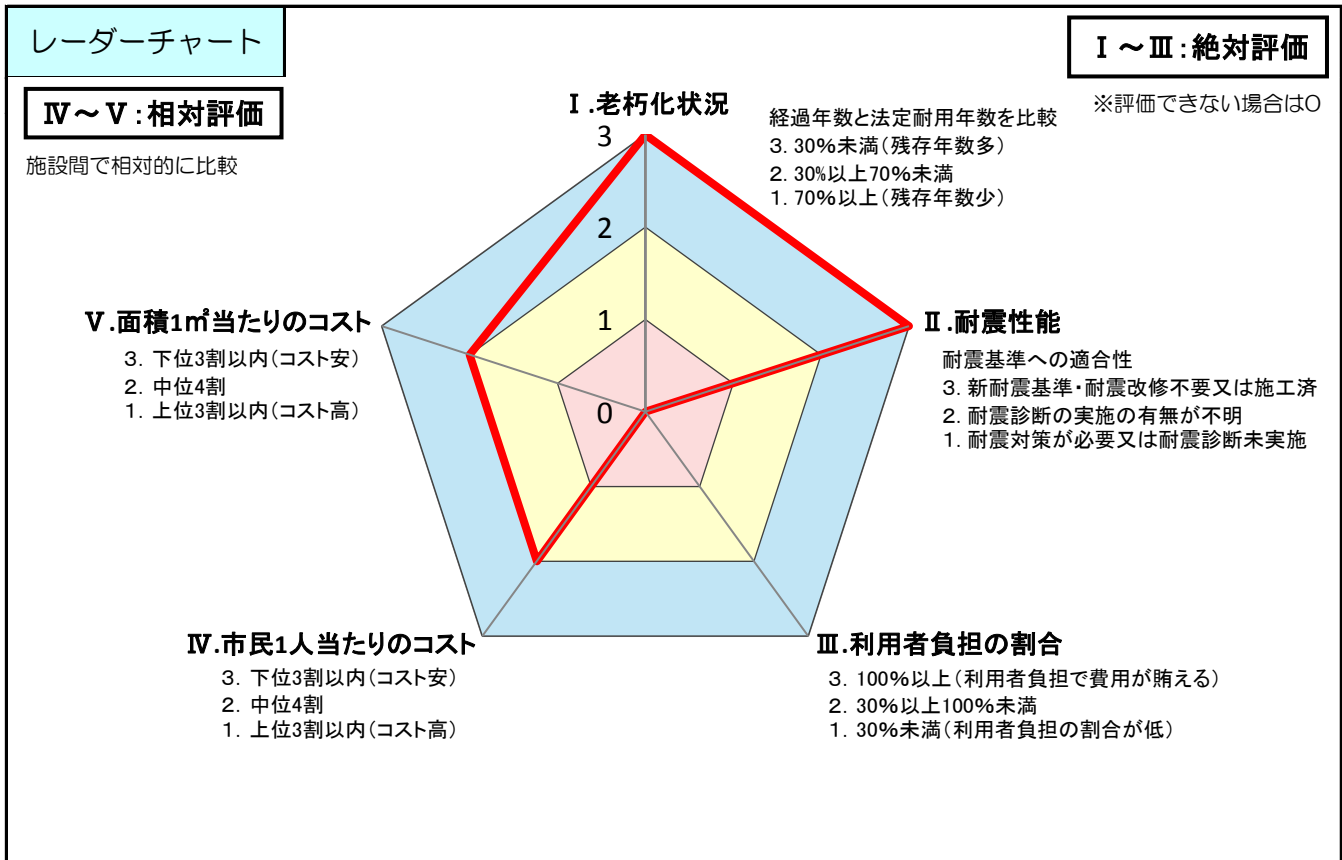
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

維持管理委託料、光熱水費は埋立地分を含む

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>16 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>46 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>979 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	下水処理センター（バイオマス混合調整棟）			
-----	----------------------	--	--	--

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	182
-----	--------	-----	--------	------	-----

所管部課	下水道課
------	------

1 土地データ

所在地 (地区)	富ヶ岡916-2 (東部)	敷地面積	66,500 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成22年度
建物構造	RC	延床面積	1,304 m ²	経過年数	8年
階数(地上)	2階	階数(地下)	1階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	469,548 千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	7,994 円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	- 人	- 人	- 人	- 人	管理委託			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	①施設維持コスト	修繕料	1,764
		国 費	-		-		火災保険料	19
		道 費	-		-		維持管理委託料	11,207
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	17,819		-		工事請負費	-
	合 計		17,819		-	その他維持費	-	
						小 計	12,990	
						②施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	4,829
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	4,829			
				合 計(①+②)	17,819			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1 m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人		303 円/人		13,665 円/m ²			



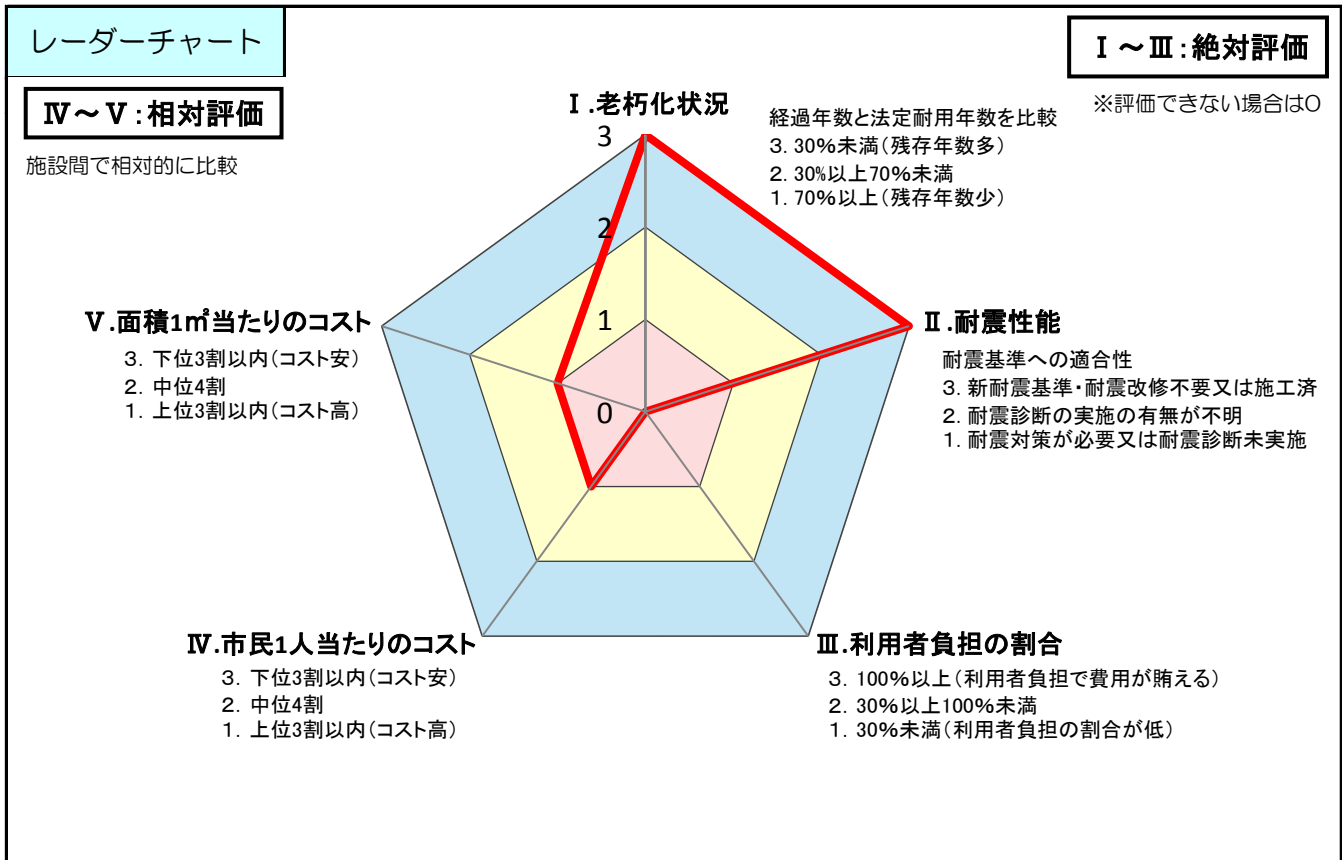
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H24	建具・換気設備修繕	48			
H28	建具修繕	158			
H29	電話機・ガス検知器・暖房修繕	1,764			

5 特記事項

ファシリティコストには下水処理施設機械設備の運転費を含む

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	21 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	- (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	303 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	13,665 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストが大きい(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	下水処理センター（予備貯留槽棟）			
-----	------------------	--	--	--

大分類	供給処理施設	中分類	供給処理施設	施設番号	183
-----	--------	-----	--------	------	-----

所管部課	下水道課
------	------

1 土地データ

所在地 (地区)	富ヶ岡916-2 (東部)	敷地面積	66,500 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成23年度
建物構造	RC	延床面積	190 m ²	経過年数	7年
階数(地上)	1階	階数(地下)	2階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	68,508 千円	法定耐用年数	38年	市民1人当たり更新コスト	1,166 円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	-人	-人	-人	-人	管理委託			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等	-		-	① 施設維持コスト	修繕料	-
		国 費	-		-		火災保険料	3
		道 費	-		-		維持管理委託料	1,635
		その他	-		-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)	2,343		-		工事請負費	-
	合 計		2,343		-	その他維持費	-	
						小 計	1,638	
						② 施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	705
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	705			
				合 計(①+②)	2,343			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1 m ² 当たり			
単位コスト	- 円/人		40 円/人		12,332 円/m ²			



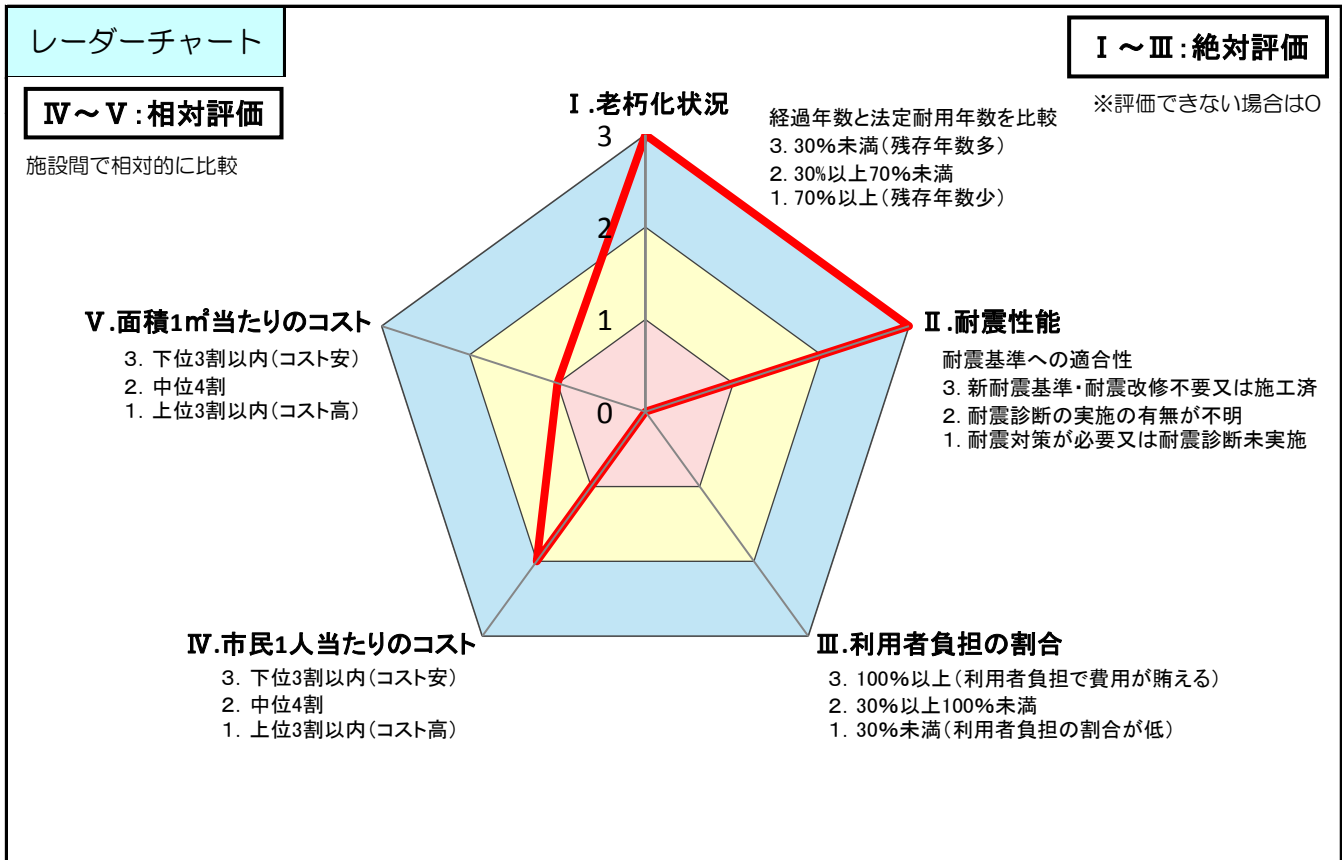
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

ファシリティコストには下水処理施設機械設備の運転費を含む

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>18 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>- (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>40 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>12,332 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化していないと判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担は評価できない(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは高い(V)。</p>	